

塾山

川内小学校の裏にある山の呼称。昔、その一角に青少年の生活の訓練や精神の陶冶を図ることを目的とした修道塾が建てられ、川内小魂の根源を醸成する教育が行われていた。



【1年生が育てたアサガオです】

語り継ぐ

校長 中川路 和孝

私の曾祖父は、指宿で農業を生業(なりわい)としていました。農業の傍ら、村の便利屋として村人に重宝されていたと父から聞いたことがあります。便利屋といっても、少し変わっていて、村人の求めに応じて印鑑や家の欄間を彫ったり、ふすまや仏壇を作ったりしていたそうです。我が家にも、曾祖父が描いた水彩画が10枚ほど残されており、曾祖父が描いた絵をとおして100年くらい前の人々の暮らしが容易に想像できます。

そんな曾祖父が残した作品の中で、最も精魂を注いだものが指宿の共同墓地に今でも残っています。それは、私の祖父の墓です。つまり、曾祖父にとっては自分の息子にあたる人物の墓ということになります。

墓石は自然石を利用しており、裏面には祖父が命を落とした経緯が彫られています。祖父が亡くなったのは、1945年(昭和20年)です。墓石には緑色のコケがびっしり付いていて、所々読めない文字もありますが、彫られた文章を読むとおよそ次のようなことが書かれています。

息子は、我が家の長男として生まれた。沖縄に出征し、8月13日に鹿児島へ帰る船に乗ろうとした時、アメリカの戦闘機から小銃で撃たれ命を落とした。享年35歳。

私の父は、わずか6歳で戦争遺児となりました。8月13日、あと二日もすれば終戦を迎えるはずだったのに、祖父は35歳という若さで亡くなりました。終戦後、祖父が亡くなる時近くにいたという東北出身の方が訪ねてきて、祖父の髪の毛を祖母に手渡したという話も聞きました。

私自身、祖父が亡くなった35歳の誕生日を迎えた時、色々な思いが去来したことを記憶しています。やはり一番に考えたことは、祖父の無念さでした。幼い子供や愛する妻を残して死んだ祖父の無念は計り知れないと思いました。

6年前、家族旅行で沖縄に行きました。子供たちは、ちゅら水族館に行ったり、海で泳いだりすることを楽しみにしていましたが、私には別の目的がありました。沖縄戦終焉の地である糸満市摩文仁にある平和記念公園を訪問することでした。公園には、「平和の礎(いしじ)」と呼ばれる沖縄戦で亡くなられた人々の名前を刻んだ石碑が建っています。その中に、祖父の名前を見付けることが私の旅行の目的でした。

平和記念公園のある摩文仁の丘は、かつてここが激しい戦闘があった場所とは想像もできないほど静かで、美しい海岸線を眺望できる風光明媚な場所でした。石碑に刻まれた戦没者の名前を探すガイドを基に大まかなエリアを特定し、後は五十音順に従って祖父の名前を探しました。祖父に近づくとつれ、胸の鼓動が高鳴るのを感じました。その時が来ました。

(ここにいらっしやったのですね。)

祖父の名前が刻まれた溝を指でなぞりながら、写真でしか見たことのない祖父をととても近くに感じました。

(あなたが生きたおかげで、今の自分があります。あなたが残してくれた平和な時代を生かしていただいております。本当にありがとうございます。)

そんな思いを祖父に伝えました。

今年も当たり前のように夏がやって来ました。6歳で戦争遺児となった父は、激動の昭和を生き抜き今年85歳になりました。苦勞したはずの子供の頃の話はあまりしませんが、戦争の悲惨さを次の世代に語り継ぐためにも、当時の話を聞いてみようと思っています。

高齢化が進み、墓じまいをするところが増え、祖父が眠る共同墓地は年々寂れるっぽうです。それでも、草刈りをしてお盆には親族が墓参りできるようにしたいと考えています。そして、墓前には祖父が好きだったという焼酎を供え、近況報告をしたいと思います。

着衣水泳を実施しました

水泳学習の1つとして着衣水泳を実施しました。服を着たまま水に落ちた時、近くの岸に向かってすぐに泳ぐ練習や、服を着たまま仰向けになって水に浮く体験をしました。写真はペットボトルを胸に抱いて浮いているところです。そのほかに、水に落ちた時、着ている服に空気を取り込んでも浮き輪の代わりになることや、溺れている人にペットボトルを投げるときには、少し水を入れると飛ばしやすいことなども体験しました。夏休みになると、海や川で遊ぶ機会が増えます。着衣のまま水に落ちてしまったとき、一番大事なことは「あわてずに、浮いて、待つ」ということです。できるだけ長く浮いて助けを待つということを意識するいい機会となりました。



関西フィルハーモニーオーケストラによるワークショップ

9月6日に芸術鑑賞教室として、関西フィルハーモニーオーケストラによる演奏を鑑賞します。その事前学習でバイオリニスト、ピアニストのお2人が来校され、6年生を対象にワークショップを開催していただきました。バンドマスターであるバイオリニストの流れるようなバイオリン演奏、ピアノによるすばらしいハーモニーを目の前で見て、子供たちは食い入るように鑑賞していました。やはり、本物に触れることは子供たちにとって大切な教育であるということを実感した時間でした。9月の演奏には70人の奏者がオーケストラとして来てくださるそうです。また、SSプラザさんだいで芸術鑑賞教室を実施します。保護者の参観も計画しています。9月の鑑賞教室が本当に待ち遠しくなるようなワークショップになりました。



健康綱引き大会に出場

7月17日、6年生の男女それぞれ1チームが、川内がらっぱ健康綱引き大会に出場しました。両チームとも作戦、技術を考えながら頑張りました。惜しくも両チームとも4位でしたが、綱引き競技と向き合い、楽しみながら頑張りました。



7月に入り、本校の児童のインフルエンザ感染が急速に増加しており、1週間あたりの感染者が20人を超える状況となっています。夏季休業中も児童の健康を守るためにも、「うつらない」、「うつさない」ための基本的な取組が非常に大切になってきます。改めて次のことに留意するなど、保護者の皆様の御理解と御協力をよろしくお願いします。

- (1) 熱中症予防を考慮した上でのマスクの着用、手洗い・手指消毒やこまめな換気を行ってください。
- (2) 3つの密（密閉・密集・密接）の回避など、基本的な感染防止対策を徹底してください。
- (3) 児童生徒のみならず同居している御家族も含め、体調管理をしっかり行い、少しでも体調の異変を感じたときには、早めに医療機関で受診してください。

～8・9月の主な行事予定～

月	日	曜	行事等	月	日	曜	行事等
8	21	月	出校日	9	5	火	視力身体計測（3・4年）
	31	木	P T A総務委員会		6	水	視力身体計測（1・2年） 芸術鑑賞教室（関西フィル）
9	1	金	2学期始業式 ※給食あり		8	金	学級P T A
	3	日	第1回P T A愛校作業		9	土	土曜授業日
	4	月	視力身体計測（5・6年） 純大インターンシップ（～9日）		19	火	鹿大教育実習（～10/2）

※運動会は、10月8日（日）に開催を予定しています。詳しくは、今後お知らせします。